



▲優勝報告のため市役所を訪れた富松九三男校長、大島安博監督と男子ソフトテニス部のみなさん

◀相撲（個人無差別級）優勝の古場選手

多久高校ソフトテニス男子（団体）と相撲の古場選手（個人）が、県高校総体優勝、全国大会に出場決定した。

5月30日から6月3日まで佐賀市の県総合運動場をメイン会場に行われた第46回県高校総合体育大会で、多久高校のソフトテニス男子（団体の部）と相撲（個人無差別級）の古場大地選手が優勝しました。

ソフトテニス男子は多久工業高校時代を含め、初優勝とあつて、6月2日に市役所を訪れ、8月に埼玉県で行われる全国高校総体にコマを進めたことを横尾市長に報告。3年生の西村亮二キャプテンは、「練習してきた努力がやっと実り、嬉しかったです。目標は大きく、全国制覇に向けて頑張ります。みなさんの応援もお願いします」と、チーム一丸で勝ち取った喜びと抱負を語りました。

また、圧倒的なパワーで、全勝優勝した3年生の古場選手は「成績を残せるよう頑張ります」と話し、全国大会へ向け闘志を燃やしています。



市長のWindow

市長コラム

▼市民のみなさんへ

TVタックルと地方分権改革

TVタックルという番組に出た。そのおかげで、いろいろな方から「多久市長として出ていましたね」「頑張ってください」などの激励を今もいただいている。5月の収録は2時間だったが、放送時間は50分程だから、見事な編集がなされている。実は冒頭部分で多久聖廟のことや今年が三百年になることなどを紹介した。レギュラー出演者から質問もあり、その一部でも放送されれば多久を全国に知ってもらえるかと期待した。しかしこの日のテーマは道路財源だったので見事カットだった。それでも20年以上前に1度出会っただけの人からも多久市役所までメッセージを頂戴した。改めて報道の力を感じた。

実はこのきっかけは地方分権改革推進委員会だった。中央官庁からのヒアリングで激しい質疑を行っている頃、議論を傍聴していたTVスタッフからの依頼で始まったのだ。

その地方分権改革だが、昨年4月に総理大臣から委員に任命され、丹羽宇一郎委員長を中心に熱い議論を続けている。5月30日に第1次勧告を首相に提出し、それを受けて政府は6月20日に「地方分権改革推進要綱（第1次）」を決定した。「基礎自治体優先」「生活者の視点に立つ地方政府の確立」などが勧告の基本的考え方で、具体的な改革提示もした。「勧告」と「要綱」の一部表現の違いについて、記者に「表現が丸くなったのでは」と尋ねられ、「丸くなれば転がしやすくなる。まずは地方分権改革を前に進転させることが大事」と応じた。ほとんどの事項については勧告どおりとされており、しかも勧告後に速やかに政府方針を決定いただいたことは有意義なことである。

真の政治のリーダーシップに期待したい。（俊彦）

市長交際費支出状況

▼平成20年度5月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	3	20,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	6	38,770
	累計	13	63,300
賛助	今月分	1	5,000
	累計	1	5,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	0	0
	累計	0	0
会費	今月分	3	23,000
	累計	5	35,500
その他	今月分	1	5,250
	累計	3	11,760
合計	今月分	12	77,020
	累計	25	135,560

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

▶ 市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/> ◀